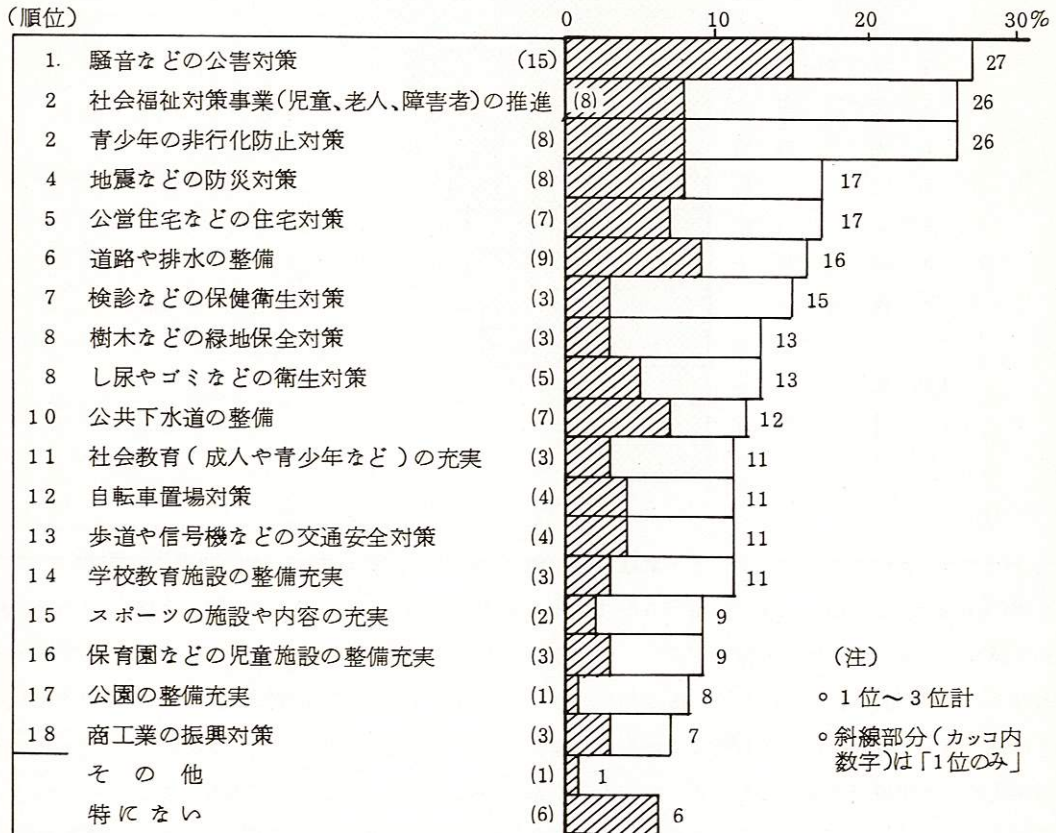


10. 施策の要望

10-1. 施策の要望 …… 「公害対策」が1位

29. [リスト23呈示] 最後に、これからの市政に対して、あなたが特に力を入れてほしいものがありましたら順位をつけて3つ以内あげてください。(M.A.)

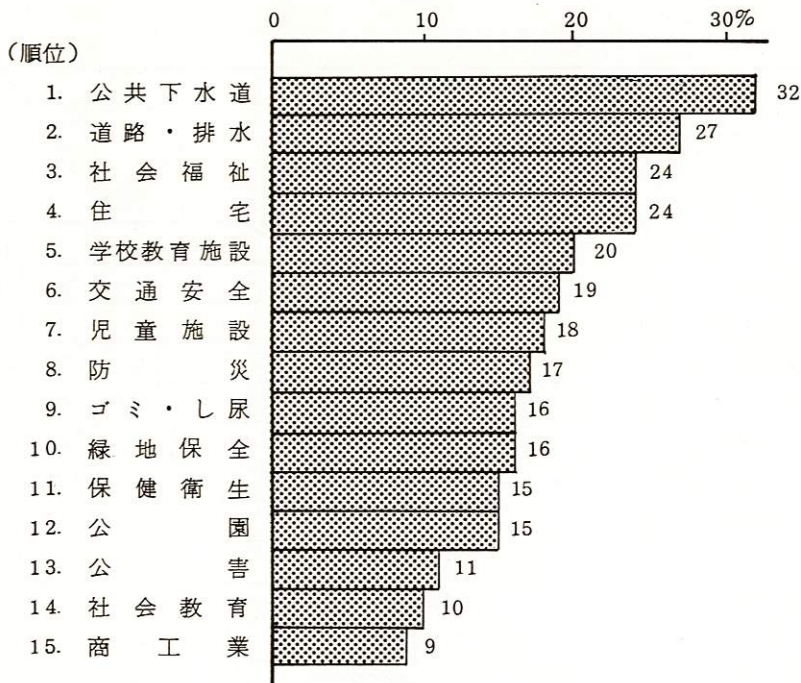


これからの市政に対して特に力を入れてほしいものを、18施策のうちから3つ以内をあげてもらった。1位、2位、3位の合計でみると、上図のように最高グループは「公害」(27%)、「社会福祉」(26%)、「青少年」(26%)の3対策であって、つぎを大きく引き離している。なお、質問の第1位のみの回答をとり出してみると(上図の斜線部分、比率は左側のカッコ内数字)、「公害」(15%)がもっとも多く、次は6対策が7%～9%台に集中している。したがって市政要望の合計比率は、トップに「公害」「社会福祉」「青少年」の3対策が接近してはいるものの、第1位の回答を勘案すれば、「公害」の要望が首位であると考えられる。

前回(昭和53年)調査では(図10-1)、「公共下水道」(32%)がトップを占め、「道路・排水」(27%)が2位であったが、今回は公害対策に変っている。

要望が30%を超えたものを属性別にみると(表10-1)、「公害対策」がCブロック(南北田園・志茂

(図10-1) 前回の「施策の要望」(1~3位・計)



1他)(31%)、Gブロック(本町8・武蔵野台1他)(33%)、団地ブロック(33%)、男性(31%)、30代(30%)、事務職(31%)、昭和50~54年転入者(30%)、昭和55年以降転入者(43%)などを3割を超え、昭和55年以降の最近転入者に要望の強い点が目立っている。「社会福祉」では、Gブロック(本町8・武蔵野台1他)(30%)、50代(30%)、無職(31%)、「青少年対策」では40代(33%)、自営者(32%)、「生れたときから住んでいる35歳以上の市民」(30%)などで要望が強い。

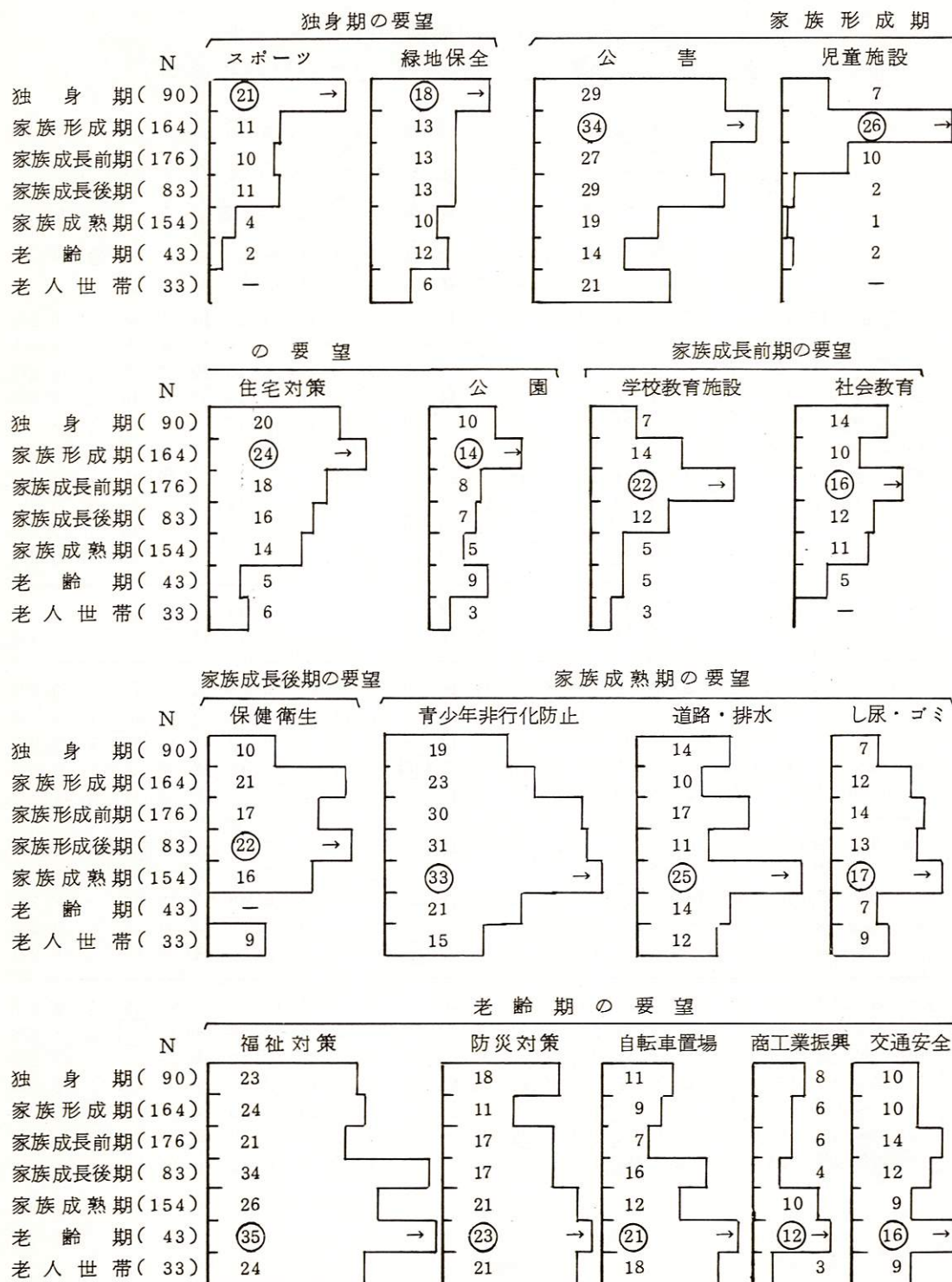
施策要望は人生段階によっても変化している。(図10-2)に示したように、独身期では「スポーツ」「緑地保全」のニーズが高く、若い未婚男女の特性を反映している。結婚して、子どもが未だ小学校前の家族形成期では、「児童施設」や「公園」など、子どものための施策要望が高くなる。また、子どもができて家が手狭になり、住宅問題が世帯の将来設計で大きなウェイトを占めており、「住宅対策」のニーズが高いのはそのためであろう。「公害対策」のニーズの高いのは、乳幼児をかかえ騒音問題に関心が強いこと、居住歴の浅い新規転入者がこの層に特に多いことなどが理由として考えられる。さて、子どもが小学校・中学校に通学する段階の家族成長前期になると、行政ニーズは「学校教育施設」に移行する。また、子どもの世話から解放され、自分自身の生涯学習を考え始める時期でもあり、「社会教育」のニーズが高い。子どもが成長して高校・大学の段階「家族成長後期」は、中年期でもあり、健康に関心が向く時期であり、ガン検診など「保健衛生」のニーズが高い。子どもが成人に達する家族成熟期のニーズは、子どもを軸とした政策ニーズから離れ、地域の問題に関心が向く。「青少年」「道路・排水」「し尿・ゴミ」の諸対策は、身近な地域の問題に対する関心と思われる。子育てを終えた高齢期では、一般に自分自身の問題に関心が戻り「福祉対策」がとくに多い。「防災」や「交通安全」のニーズは、安全面の配慮に関心が高いこの時期の特性を反映

したものであろう。

(表10-1) 地域別、男女別、年齢別、職業別、転入時期別にみた「施策の要望(計)」(1~3位・計)

N		道	公	衛	公	防	交	住	公	緑	社	児	学	社	商	保	自	ス	青	そ	特	(計)
		路	共	生	害	災	通	宅		地	会	童	校	会	工	健	転	ボ	少	の	に	
		排水	水道	対策	対策	対策	全策	対策	園	全	社	設	設	育	業	生	場	ッ	策	他	い	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
市	全 体(797)	16	12	13	27	17	11	17	8	13	26	9	11	11	7	15	11	9	26	1	6	267
A	ブ ロ ッ ク (99)	16	16	15	28	15	16	14	4	4	26	7	15	19	3	19	12	7	29	1	5	274
B	" (148)	20	26	11	28	16	13	15	12	11	25	10	5	10	5	14	7	10	26	1	5	268
C	" (90)	10	8	6	31	18	6	20	8	9	29	12	19	13	4	17	7	6	28	1	6	256
D	" (63)	22	11	8	16	14	11	18	6	13	19	3	11	8	8	11	14	16	27	2	18	256
E	" (117)	14	9	23	21	18	9	16	9	21	24	8	11	11	9	12	10	12	25	—	6	267
F	" (148)	14	7	14	28	20	12	16	10	16	26	7	7	10	14	14	13	5	23	1	8	262
G	" (132)	17	8	10	33	17	9	20	5	13	30	13	14	9	5	21	16	11	26	1	2	279
団地	" (130)	10	2	5	33	22	12	29	5	9	27	16	15	13	5	24	18	11	25	—	2	282
男	性 (410)	15	13	10	31	15	11	19	10	13	24	8	11	12	11	14	11	13	27	1	4	272
女	性 (387)	17	11	16	24	20	11	15	7	12	27	10	11	11	3	17	11	5	24	1	9	262
2	0 代 (135)	13	13	13	29	18	8	24	12	16	26	19	7	10	6	16	8	19	21	—	2	278
3	0 " (235)	13	10	11	30	12	13	21	9	14	23	17	19	13	7	20	9	10	26	1	2	281
4	0 " (188)	19	11	14	25	20	6	15	8	14	24	2	13	17	5	14	11	10	33	1	5	268
5	0 " (139)	22	19	17	29	19	15	13	3	7	30	1	3	8	7	18	12	3	24	1	9	258
6	0 以 上 (100)	15	11	8	20	20	13	4	8	11	29	1	3	3	12	3	19	2	21	3	22	228
自 営	者 (128)	13	16	17	27	18	13	13	5	13	21	4	4	13	21	11	16	6	32	1	3	265
事 務	職 (241)	15	12	12	31	12	13	20	10	15	27	12	14	12	7	15	9	14	27	2	3	281
労 務	職 (197)	16	14	9	25	19	5	23	8	11	25	8	12	13	5	18	15	10	23	—	7	265
専 業	主 婦 (163)	18	8	15	25	22	12	12	7	14	27	12	15	8	1	20	9	6	25	—	9	266
無	職 (68)	21	16	13	27	16	13	7	9	9	31	—	3	7	2	7	4	4	18	3	21	231
生	ま れ た 20~34 歳 (46)	17	17	4	20	15	17	15	9	20	22	4	11	17	13	2	9	22	26	2	2	265
と	き か ら 35~ 歳 (57)	21	14	16	14	14	16	9	11	7	23	2	12	11	12	16	11	12	30	2	7	258
転	入 昭 和 29 年 以 前 (97)	25	11	14	21	22	19	7	6	12	27	1	3	7	13	12	19	5	24	—	11	260
者	" 30~39 年 (124)	15	12	16	27	15	9	13	2	14	32	4	6	10	8	15	11	6	29	2	11	252
	" 40~49 年 (207)	17	16	11	27	18	6	19	9	14	27	8	15	10	4	18	11	9	27	—	6	273
	" 50~54 年 (182)	8	7	12	30	19	12	22	10	10	23	17	16	17	4	17	11	8	28	2	2	274
	" 55 年 以 降 (84)	18	13	16	43	13	11	23	12	13	25	16	6	7	6	18	6	11	13	—	6	274

(図10-2) ライフステージ別にみた「施策の要望」(1~3位・計)



福生市市政世論調査報告書

昭和57年11月発行

発行：福生市 企画財政部 企画財政課

〒197 福生市本町5

電話 0425-51-1511

実施：社団法人 新情報センター

〒100 東京都千代田区永田町2-10-2

電話 03-580-5231
